** 2016 年 06 月　（第 9 版）　製造販売認証番号　220ABBZX00297000

* 2015 年 09 月　（第 8 版）

機械器具 09 医療用エックス線装置及び医療用エックス線装置用エックス線管

管理医療機器　移動型デジタル式汎用 X 線診断装置　37647010

（移動型アナログ式汎用 X 線診断装置　37626010）

（X 線平面検出器出力読取式デジタルラジオグラフ　70026000）

特定保守管理医療機器
設置管理医療機器

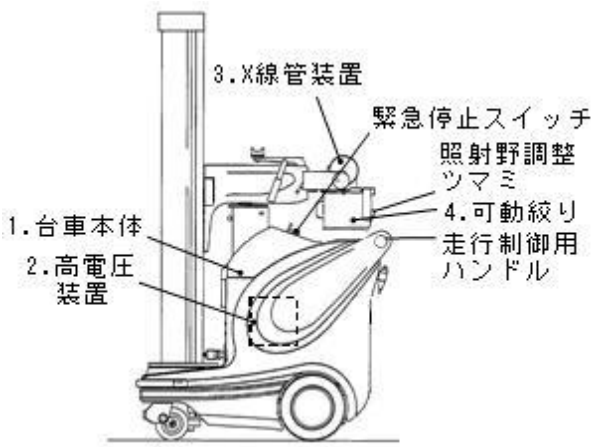
回診用 X 線撮影装置　MobileArt Evolution

【形状・構造及び原理等】

1. 形状

本装置は以下の各ユニットから構成されます。

(1)台車本体
　装置高さ 1930mm タイプ、1780mm タイプ択一
(2)高電圧装置
　32kW タイプ、12.5kW タイプ択一
(3)X 線管装置
　32kW タイプ、12.5kW タイプ択一
(4)可動絞り
(5)オプション
・赤外線リモコン
・折りたたみ式防護衝立
・面積線量計
・距離表示計
・焦点持ち上げキット
・キーレスエントリー
・走行ハンドル高さ変更
・光るハンドスイッチ
・ハンドスイッチ増設
・グリッドケース
・大型カセッテボックス
・FPD アップグレードキット
　・タッチ式モニタ
　・FPD ボックス
　・コンピュータ
　・X 線平面検出器出力読取式デジタルラジオグラフ
　　デジタルラジオグラフィ CXDI-55G
　　デジタルラジオグラフィ CXDI-55C
　　デジタルラジオグラフィ CXDI-60G
　　デジタルラジオグラフィ CXDI-60C
　　デジタルラジオグラフィ CXDI-70C Wireless
　　デジタルラジオグラフィ CXDI-70G Wireless
　　デジタルラジオグラフィ CXDI-80C Wireless
　　デジタルラジオグラフィ CXDI-401C Wireless
　　デジタルラジオグラフィ CXDI-401G Wireless
　　デジタルラジオグラフィ CXDI-701C Wireless
　　デジタルラジオグラフィ CXDI-701G Wireless
　　デジタルラジオグラフィ CXDI-801C Wireless
　　デジタルラジオグラフィ CXDI-801G Wireless
　　富士フイルム DR-ID 800
　　デジタルラジオグラフィー AeroDR SYSTEM 2
　　デジタルラジオグラフィー AeroDR SYSTEM
　　上記 16 種類から一種類または二種類を選択
　　※1、※2、※3、※4、※5、※6、※7、※8、※10
　　また、本構成品を一般的名称「X 線平面検出器出力読取式デジタルラジオグラフ」として使用することができる。
・無線 LAN オプション
　（FPD アップグレードキット搭載時のみ）
・追加 FPD キット
　（FPD アップグレードキット搭載時のみ）
　・X 線平面検出器出力読取式デジタルラジオグラフ
　　デジタルラジオグラフィ CXDI-55G
　　デジタルラジオグラフィ CXDI-55C
　　デジタルラジオグラフィ CXDI-60G
　　デジタルラジオグラフィ CXDI-60C
　　デジタルラジオグラフィ CXDI-70C Wireless
　　デジタルラジオグラフィ CXDI-70G Wireless
　　デジタルラジオグラフィ CXDI-80C Wireless
　　デジタルラジオグラフィ CXDI-401C Wireless
　　デジタルラジオグラフィ CXDI-401G Wireless
　　デジタルラジオグラフィ CXDI-701C Wireless
　　デジタルラジオグラフィ CXDI-701G Wireless
　　デジタルラジオグラフィ CXDI-801C Wireless
　　デジタルラジオグラフィ CXDI-801G Wireless
　　富士フイルム DR-ID 800
　　デジタルラジオグラフィー AeroDR SYSTEM 2
　　デジタルラジオグラフィー AeroDR SYSTEM
　　上記 16 種類から一種類を選択。また、本構成品を一般的名称「X 線平面検出器出力読取式デジタルラジオグラフ」として使用することができる。
　　※1、※2、※3、※4、※5、※6、※7、※8
・FPD ボックス
・FPD カバー
　（FPD アップグレードキット搭載時のみ）
・シールオプション
・カードリーダオプション
　（FPD アップグレードキット搭載時のみ）
・バーコードリーダオプション
　（FPD アップグレードキット搭載時のみ）
・外付けモニタインタフェースオプション
　（FPD アップグレードキット搭載時のみ）
・有線接続キット
　（FPD アップグレードキット搭載時のみ）
・グリッドユニット
　（FPD アップグレードキット搭載時のみ）※8、※9
・ウェットティッシュホルダ
・LED ランプキット



※1.デジタルラジオグラフィ CXDI-55G、CXDI-55C、CXDI-60G および CXDI-60C は以下の各ユニットから構成されます。
(1)撮影部
(2)ケーブル
オプション
(3)パワーボックス
(4)リモートスイッチ
(5)CXDI コントロールソフトウェア
(6)グリッドユニット
(7)センサケーブル

取扱説明書を必ずご参照ください。

※2 デジタルラジオグラフィ CXDI-70C Wireless、CXDI-70G Wireless、CXDI-80C Wireless は以下の各ユニットから構成されます。
(1)撮影部
オプション
(2)ワイヤリングユニット
(3)X線インタフェースユニット
(4)ハンドルユニット
(5)CXDI コントロールソフトウェア
(6)グリッドフレーム
(7)バッテリーパック

※3 デジタルラジオグラフィ CXDI-401C Wireless、CXDI-401G Wireless は以下の各ユニットから構成されます。
(1)撮影部
オプション
(2)ワイヤリングユニット
(3)X線インタフェースユニット
(4)CXDI コントロールソフトウェア
(5)バッテリーパック

※4 デジタルラジオグラフィ CXDI-701C Wireless、CXDI-701G Wireless 、 CXDI-801C Wireless 、 CXDI-801G Wireless は以下の各ユニットから構成されます。
(1)撮影部
オプション
(2)ワイヤリングユニット
(3)X線インタフェースユニット
(4)CXDI コントロールソフトウェア
(5)グリッドフレーム
(6)バッテリーパック

※5 富士フイルム DR-ID 800 は以下の各ユニットから構成されます。
(1)パネルユニット
1)フラットパネルセンサ
（DR-ID 601SE, DR-ID 602SE, DR-ID 611SE,
DR-ID 612SE, DR-ID 613SE,
DR-ID 1201SE, DR-ID 1202SE,
DR-ID 1211SE, DR-ID 1212SE,
DR-ID 1213SE, DR-ID 1214SE）
2)インターフェースユニット
(2)アプリケーションソフトウェア
(3)画像処理ユニット用ソフトウェア
オプション
(4)パーソナルコンピュータ
1)PC 本体
2)ディスプレイ
(5)パネルユニットのオプション
1)バッテリーチャージャー
2)バッテリーパック
3)有線ケーブル
(6)装置外部との入出力機能
(7)画像の表示及び処理の機能

※6 デジタルラジオグラフィー AeroDR SYSTEM 2 は以下の各ユニットから構成されます。
(1)AeroDR パネル
（AeroDR P-51, AeroDR P-52）
オプション
(2)AeroDR クレードル
(3)AeroDR クレードル用電源ケーブル
(4)AeroDR I/F ケーブル 2
(5)AeroDR ポータブル RF ユニット 2
(6)AeroDR ポータブル AC アダプター
(7)AeroDR バッテリーチャージングキット

※7 デジタルラジオグラフィー AeroDR SYSTEM は以下の各ユニットから構成されます。
(1)AeroDR パネル
（AeroDR P-11, AeroDR P-12, AeroDR P-21, AeroDR P-31）

※8 出荷時に択一したタイプと異なるタイプを、置換えのために単体出荷する場合があります。
※9 デジタルラジオグラフィ CXDI-55G、CXDI-55C、CXDI-60G、CXDI-60C と組合せることができる。
※10 デジタルラジオグラフィー AeroDR SYSTEM 2 の AeroDR パネルに替えて、デジタルラジオグラフィー AeroDR SYSTEM の AeroDR パネルを使用することができる。

2.原理

本装置は、移動型の設計により、充電式のバッテリーで作動するようになっており、建物の中の様々な場所へ、1名で押して運ぶことができます。一般に、ベッドサイドでのX線撮影、及び術中の撮影に使用されます。
X線撮影時には、X線をX線管装置から照射し、人体透過後のX線を手動式X線フィルムカセッテや光輝尽性蛍光板カセッテで検出し、画像を記録します。
また、FPD アップグレードキットを選択することで、人体透過後のX線をX線平面検出器で検出し、タッチ式モニタに参照画像を表示するとともに、内部記憶装置に画像を記録することができます。この画像には各種の画像処理を行うことができます。また LAN によって外部ネットワークを通じて装置外部へ画像を転送したりすることもできます。また、構成品の X 線平面検出器出力読取式デジタルラジオグラフを、一般的名称「X 線平面検出器出力読取式デジタルラジオグラフ」として他の装置と組合わせて使用することができます。

機器の分類
保護の形式 クラスⅠ(医用機器差込接続時)
内部電源機器(バッテリー駆動時)
保護の程度 B 形装着部を持つ機器

3 仕様

詳細は装置付属の取扱説明書を参照すること。

管電圧	32kW タイプ：40～133kV　1kV ステップ 12.5kW タイプ：40～125kV　1kV ステップ	
管電流時間積	0.32～320mAs	
焦点寸法	32kW タイプ：0.7/1.3mm 12.5kW タイプ：0.7mm	
焦点高さ	600～2010mm	600～1860mm
焦点水平移動量	565mm	
支柱回転範囲	±270°	
ネットワーク機能※	各種 DICOM 通信処置を行う	

※FPD アップグレードキット（オプション）を搭載した場合の仕様

4 電気的定格(充電時)

方式 単相交流電源
周波数：　50／60Ｈｚ
定格電圧：　100、110、120、200、220、230、240V
（上記のうち一つを据付時に設定する。）
電源容量：　1kVA

【使用目的又は効果】

人体を透過したX線の蛍光作用、写真作用又は電離作用を利用して人体画像情報を診療のために提供すること。
また、X 線パターンを X 線平面検出器で撮像し、コンピュータ処理した画像情報を診療のために提供すること。

取扱説明書を必ずご参照ください。

【使用方法等】

本装置は設置管理医用機器であるため、設置組立は当社サービス担当店が行います。

詳細な操作方法および使用方法については取扱説明書を参照すること。
装置の基本的な操作方法を以下に示します。

1.充電
(1)電源プラグをコンセントに接続し、装置の充電を行います。
(2)使用時には電源プラグの接続は解除します。

2.走行
(1)装置電源をオンにします。
(2)ハンドル操作を行い、目的地まで移動します。

3.撮影準備
(1)アームロック解除スイッチを押しながら、管球部を撮影位置へ移動させます。
(2)可動絞りにより、X線照射野を設定します。
(3)患者の下に手動式X線フィルムカセッテ、又は光輝尽性蛍光板カセッテを配置します。

4.撮影
(1)X線制御パネルにより、X線撮影条件を設定します。
(2)撮影スイッチにより、X線撮影を行います。
(3)照射面積線量の表示を確認します。

5.使用後
(1)アームを台車本体に収納します。
(2)装置を所定の保管場所に移動します。
(3)装置電源をオフにします。
(4)必要に応じて充電を行います。

6.緊急停止
(1)走行中に緊急停止スイッチを押すと、直ちに走行を停止します。
(2)緊急停止スイッチを元の位置に戻すと、再び走行可能になります。

また、オプションである FPD アップグレードキットを搭載した場合の装置の基本的な操作方法を以下に示します。

1.充電
(1)電源プラグをコンセントに接続し、装置の充電を行います。
(2)使用時には電源プラグの接続は解除します。

2.走行
(1)装置電源をオンにします。
(2)ハンドル操作を行い、目的地まで移動します。

3.DR システムの起動
(1)DR 電源スイッチを押し、DR システムを起動します。
(2)コンピュータおよびモニタに電源が入り、DR コントロールソフトウェアが起動します。
(3)モニタに操作部の初期設定画面が表示されます。

4.撮影準備
(1)タッチ式モニタ、またはネットワーク上のサーバーより患者情報を入力します。
(2)アームロック解除スイッチを押しながらX線管を撮影位置へ移動させます。
(3)可動絞りにより、X線照射野を設定します。
(4)撮影部位の裏側に CXDI-55G 撮影部、CXDI-55C 撮影部、CXDI-60G 撮影部、CXDI-60C 撮影部、CXDI-70C Wireless 撮影部、CXDI-70G Wireless 撮影部、CXDI-80C Wireless 撮影部、CXDI-401C Wireless 撮影部、CXDI-401G Wireless 撮影部、CXDI-701C Wireless 撮影部、CXDI-701G Wireless 撮影部、CXDI-801C Wireless 撮影部もしくは CXDI-801G Wireless 撮影部またはフラットパネルセンサ DR-ID 601SE、フラットパネルセンサ DR-ID 602SE、フラットパネルセンサ DR-ID 611SE、フラットパネルセンサ DR-ID 612SE、フラットパネルセンサ DR-ID 613SE、フラットパネルセンサ DR-ID 1201SE、フラットパネルセンサ DR-ID 1202SE、フラットパネルセンサ DR-ID 1211SE、フラットパネルセンサ DR-ID 1212SE、フラットパネルセンサ DR-ID 1213SE、もしくはフラットパネルセンサ DR-ID 1214SE または AeroDR パネル（AeroDR P-11、AeroDR P-12、AeroDR P-21、AeroDR P-31、AeroDR P-51 もしくは AeroDR P-52）を位置させます。

5.撮影
(1)X線撮影条件を設定します。
(2)DR システムの READY 表示を確認します。
(3)X線発生装置のX線照射スイッチを操作しX線を患者に照射します。
(4)照射面積線量の表示を確認します。

6.画像確認
(1)撮影後の画像はモニタ上に表示されます。
(2)表示された画像により撮影条件や撮影体位の良否、撮影中の患者のブレの有無を確認します。

7.画像転送
・画像出力を画像出力装置に設定している場合、ネットワーク上に接続されたプリンタに画像データを転送します。
・画像出力を画像診断用ワークステーションに設定している場合、ネットワーク上に接続された画像診断用ワークステーションに画像データを転送します。
・画像データをデジタル保管する場合、ネットワーク上に接続された画像ファイル装置に画像データを転送します。

8.DR システムの終了
タッチモニタからシステム終了メニューを選択することにより、DR システムを終了することができます。これによりコンピュータ及びモニタへの電源供給が停止されます。

9.使用後
(1)アームを台車本体に収納します。
(2)装置を所定の保管場所に移動します。
(3)装置電源をオフにします。
(4)必要に応じて充電を行います。

10.緊急停止
(1)走行中に緊急停止スイッチを押すと、直ちに走行を停止します。
(2)緊急停止スイッチを元の位置に戻すと、再び走行可能になります。

11.組合せ使用について
構成品の X 線平面検出器出力読取式デジタルラジオグラフを、一般的名称「X 線平面検出器出力読取式デジタルラジオグラフ」として他の装置と組合せて使用することができます。

組み合わせられる医療機器の要件

1. 手動式Ｘ線フィルムカセッテ又は光輝尽性蛍光板カセッテは薬事届出品を使用すること。
2. 本装置と組み合わせて使用する機器は、JIST0601 に適合した医用電気機器、あるいは関連する IEC 安全規格に適合した非医用電気機器又は関連する JIS の安全規格、電気用品安全法の技術基準か若しくはそれらと同等の安全性をもつ非医用電気機器を使用すること。
3. 組合せられるＸ線平面検出器出力読取式デジタルラジオグラフは以下のとおり。

Ｘ線平面検出器出力読取式デジタルラジオグラフ	デジタルラジオグラフィ CXDI-55G（製造販売認証番号 221AGBZX00112000）
	デジタルラジオグラフィ CXDI-55C（製造販売認証番号 221AGBZX00111000）
	デジタルラジオグラフィ CXDI-60G（製造販売認証番号 220AGBZX00114000）
	デジタルラジオグラフィ CXDI-60C（製造販売認証番号 221AGBZX00115000）
	デジタルラジオグラフィ CXDI-70C Wireless（製造販売認証番号 222AGBZX00235000）
	デジタルラジオグラフィ CXDI-70G Wireless（製造販売認証番号 223AGBZX00170000）
	デジタルラジオグラフィ CXDI-80C Wireless（製造販売認証番号 223AGBZX00182000）
	デジタルラジオグラフィ CXDI-401C Wireless（製造販売認証番号 225ABBZX00140000）
	デジタルラジオグラフィ CXDI-401G Wireless（製造販売認証番号 225ABBZX00139000）
	デジタルラジオグラフィ CXDI-701C Wireless（製造販売認証番号 225ABBZX00084000）
	デジタルラジオグラフィ CXDI-701G Wireless（製造販売認証番号 225ABBZX00074000）
	デジタルラジオグラフィ CXDI-801C Wireless（製造販売認証番号 225ABBZX00087000）
	デジタルラジオグラフィ CXDI-801G Wireless（製造販売認証番号 225ABBZX00086000）
	富士フイルム DR-ID 800（製造販売認証番号 225ABBZX00001000）
	富士フイルム DR-ID 600（製造販売認証番号 222ABBZX00062000）
	富士フイルム DR-ID 1200（製造販売認証番号 226ABBZX00085000）
	デジタルラジオグラフィー AeroDR SYSTEM 2（製造販売認証番号 226ABBZX00050000）
	デジタルラジオグラフィー AeroDR SYSTEM（製造販売認証番号 225ABBZX00011000）

4. 組合せられるＸ線用グリッドは以下のとおり。

Ｘ線用グリッド	ＭＳ－Ｘレイグリッド（製造販売届出番号 11B3X00078000001）

【使用上の注意】

重要な基本的注意

1. アーム上下動作時に、異常音や振動を感じた場合には、必ず装置の使用を中止し、当社サービス担当店に速やかに連絡すること。
2. フラットパネルセンサの無線通信時は、本装置が他の機器から生じる電波により電波干渉を受けるおそれがあるため、取扱説明書に記載の注意事項を理解した上で使用すること。
3. 本機器は防爆型ではありません。爆発事故や火災が発生するおそれがあるので、本装置の近くで可燃性および爆発性の気体、液体などを使用しないこと。
4. 感電や火災が発生するおそれがあるので、針やクリップなどの金属が装置内部に入ったり、水などの液体が装置にかからないこと。
5. 操作者は、医療(Ｘ線業務)関係の教育を受けた、資格をもつ者であること。
6. 検査を開始する前に装置に異常がないこと、構成品、付属品が確実に固定・接続されていること、正常にかつ安全に作動することを確認すること。
7. 検査前に患者の位置、状態をよく確認すること。
8. 傾斜のある場所、大きな段差のある場所および凹凸のある場所では、装置が転倒するおそれがあるため使用や駐車および保管は避けること。
9. 撮影の際はＸ線被ばく低減のため、患者に放射線防護具を装着すること。
10. 患者へ照射するＸ線はＸ線可動絞り装置で必要な部位だけに絞り込むこと。
11. Ｘ線発生時には、患者以外の人は検査室にとどまらないように注意すること。
12. 万一、やむをえず検査室に患者以外の人がとどまる必要があるときは、十分な放射線防護処置を行うこと。
13. 撮影の際は、十分な放射線防護処置をおこなうこと。Ｘ線管装置及び患者から 2m 以上離れ、放射線防護具を装着するか、放射線防護設備に隠れてＸ線を照射すること。
14. 静電気ショックを避けるために、アースベルトへのホコリの付着や接地状態に問題が無いことを使用前に確認すること。
15. ネットワーク接続する場合は、設置場所のネットワーク管理者から適切なネットワークアドレスを取得し、正しく設定すること。
16. 患者の体液、薬品、水などがかからないように注意すること。必要に応じ、患者接触部をディスポーザブルカバーなどで覆うなど適切な措置を講じること。
17. 植込み型心臓ペースメーカ又は植込み型除細動器の本体の植込み部位にパルス状の連続したＸ線束を照射する検査を行う場合、これらの機器に不適切な動作が発生する可能性がある。検査や処置上やむを得ず、本体の植込み部位にＸ線束を照射する場合には、植込み型心臓ペースメーカ又は植込み型除細動器の添付文書の「重要な基本的注意」の項及び「相互作用」の項等を参照し、適切な処置を行うこと。
18. 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に設置すること。
19. 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など、オプションである CXDI-55G 撮影部、CXDI-55C 撮影部、CXDI-60G 撮影部、CXDI-60C 撮影部、CXDI-70C Wireless 撮影部、CXDI-70G Wireless 撮影部、CXDI-80C Wireless 撮影部、CXDI-401C Wireless 撮影部、CXDI-401G Wireless 撮影部、CXDI-701C Wireless 撮影部、CXDI-701G Wireless 撮影部、CXDI-801C Wireless 撮影部、CXDI-801G Wireless 撮影部、DR-ID 800 フラットパネルセンサもしくは AeroDR パネルの安定状態に注意すること。
20. 撮影範囲を超えてＸ線を照射しないよう注意すること（CXDI-55G 撮影部、CXDI-55C 撮影部、CXDI-70C Wireless 撮影部もしくは CXDI-70G Wireless 撮影部、CXDI-401C Wireless 撮影部、CXDI-401G Wireless 撮影部、CXDI-701C Wireless 撮影部、CXDI-701G Wireless 撮影部の場合、管球焦点から 81cm 以上の距離で、CXDI-60G もしくは CXDI-60C 撮影部の場合、管球焦点から 53cm 以上の距離で、CXDI-80C Wireless 撮影部、CXDI-801C Wireless 撮影部、CXDI-801G Wireless 撮影部の場合、管球焦点から 63cm 以上の距離で、フラットパネルセンサ DR-ID 601SE、フラットパネルセンサ DR-ID 611SE、フラットパネルセンサ DR-ID 1201SE もしくはフラットパネルセンサ DR-ID 1211SE の場合、管球焦点から 80cm 以上の距離で、フラットパネルセンサ DR-ID 602SE、フラットパネルセンサ DR-ID 612SE、フラットパネルセンサ DR-ID 1202SE もしくはフラットパネルセンサ DR-ID 1212SE の場合、管球焦点から 98cm 以上の距離で、フラットパネルセンサ DR-ID 613SE、フラットパネルセンサ DR-ID 1213SE もしくはフラットパネルセンサ DR-ID 1214S の場合、管球焦点から 53cm 以上の距離で、AeroDR パネル（AeroDR P-11、AeroDR P-12、

AeroDR P-51 もしくは AeroDR P-52）の場合、管球焦点から 80cm 以上の距離で、AeroDR パネル（AeroDR P-21）の場合、管球焦点から 98cm の距離で、AeroDR パネル（AeroDR P-31）の場合、管球焦点から 53cm の距離ではコリメータを絞らないとＸ線照射範囲が撮影可能範囲を超えます）。

21.機器および患者に異常が発見された場合には、患者に安全な状態で機器の作動を止めるなど適切な措置をとること。
22.機器に患者が触れることのないよう注意すること。
23.点滴台や本装置以外の機器のケーブルなどを踏むと、患者に重大な危険を与える場合があるので、本体を移動させる場合は、周りに障害物がないことを確認すること。
24.操作者は、アーム部および装置を動かすときに、操作者および患者の手足等が装置や周辺機器の間に、はさみ込まれないように細心の注意を払うこと。片手や逆手で走行ハンドルを操作しないこと。
25.走行ハンドル下面のバーに触れると走行ブレーキが解除され、装置が動き出すことがあるので、装置を移動させないときは走行ハンドル下面のバーに触れないこと。
26.帯電した体で装置を移動している場合、湿度、衣類等の条件によっては静電気による電撃を感じることがあります。
27.本装置の走行を強制的に停止させたい場合は、電源パネルの「緊急停止スイッチ」を押すこと。
28.「緊急停止スイッチ」を解除するときは装置が異常な動きをしないか十分注意すること。異常な動きをする場合は使用を中止し、当社サービス担当店に連絡すること。
29.装置から離れるときは、キースイッチを「OFF」してキーを抜くこと。
また、オプションである FPD アップグレードキットを搭載している場合は、DR システムを終了し、キースイッチを「OFF」してキーを抜くこと。
30.キーレスエントリー組み合わせ時は、パスワードを適切に管理すること。
31.センサーケーブル中継コネクターを着脱する場合は、オペレーションマニュアルを参照し、パワーボックス（またはリモートスイッチ）の電源スイッチを OFF し、撮影部/パワーボックス/リモートスイッチの POWER ランプが消灯していることを確認すること。POWER ランプが点灯しているときに着脱しますと、ERROR ランプが点灯します。
32.本装置の傍での、電磁波を発生する機器の使用は、装置に障害を及ぼすおそれがあるので使用しないこと。
33.本装置を他の装置に近接して使用すると電波障害を起こすおそれがある。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをすること。
34.誤操作や不慮の事故などにより、装置内の磁気ディスクに保存されている画像・生データが読み取れなくなることがあるので、必ず外部装置にバックアップするか、またはフィルムに印刷すること。
外部装置にバックアップした場合には、外部装置のリスト表示などを行うことにより、バックアップが確実に実行されたことを確認すること。
35.装置をコンセントに接続しているときは、電気メスなどの火気に近づけないようにすること。バッテリー充電中に引火・爆発のおそれがあり危険である。
36.撮影画像をネットワーク転送する場合は、確定診断を本装置の出力画像のみで行わず、複数の検査結果を以て行うこと。
37.カードリーダ/バーコードリーダを使用して患者情報を入力する場合は、必ず検査依頼票などの検査依頼情報と装置表示を照合し確認すること。

⁑⁑ **相互作用**（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること）

併用注意（併用に注意すること）

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
植込み型心臓ペースメーカ・植込み型除細動器	・植込み型心臓ペースメーカ又は植込み型除細動器の本体の植込み部位にパルス状の連続したＸ線束を照射する検査を行う場合、これらの機器に不適切な動作が発生する可能性がある。 ・検査や処置上やむを得ず、本体の植込み部位にパルス状の連続したＸ線束を照射する場合には、植込み型心臓ペースメーカ又は植込み型除細動器の添付文書の「重要な基本的注意」の項及び「相互作用」の項等を参照し、適切な処置を行うこと。	パルス状の連続したＸ線束を照射する透視・撮影（数秒以内での連続した撮影、パルス透視、DA 撮影、DSA 撮影、シネ撮影等）を行う場合、植込み型心臓ペースメーカ又は植込み型除細動器内部の C-MOS 回路に影響を与えること等により、オーバーセンシングが起こり、ペーシングパルス出力が一時的に抑制されたり、不適切な頻拍治療を行うことがある。

妊婦、産婦、授乳婦及び小児等への適用

1. 本装置を妊婦および妊娠の疑いのある者および授乳中の者へ使用する場合は、医師の指示のもとで慎重に行うこと。[放射線被ばくの影響が大きいため]
2. 乳児、小児への過剰なＸ線照射は避けること。[放射線被ばくの影響が大きいため]
3. 乳児、小児の検査の場合は介助者をつけること。[機器への挟み込みなどの事故を防止するため]

【保管方法及び有効期間等】

耐用期間　［自己認証（当社データ）による］

指定された保守点検を実施し、指定された使用条件で使われた場合、10 年。（オプションである FPD アップグレードキット取付装置については，取付後 6 年，もしくは保存期間 10 年のうち短い方）（当社データによる。）
使用状況により差異が生じることがあります。

【保守・点検に係る事項】

使用者による保守点検事項

始業・終業点検は必ず行うこと。
詳細な項目・方法については装置付属の取扱説明書を参照すること。

項目（頻度）	点検事項
1 外観 (使用前)	カバーの破損（破れやへこみ）はないか
2 走行ハンドル部 (使用前)	ガタツキがないか
3 支柱 (使用前)	旋回時に異音がないか 旋回時に、アームロック解除スイッチまたはレバーから手を放すと停止するか 全体が傾いていないか
4 アーム部 (使用前)	アーム連結部と無理なく結合できるか 前後動、上下動、伸縮時に引っ掛かりや異音やガタツキがないか 前後動、上下動時にアームロック解除スイッチまたはレバーから手を放すと停止するか アームを最大限に伸ばした状態でガタツキがないか 中アーム下に取付けているレールにガタツキはないか
5 アーム連結部 (使用前)	トッププレートにガタツキはないか アームキャッチにガタツキがないか
6 X 線管装置 (使用前)	X 線管装置保持部にガタツキがないか
7 コリメータ (使用前)	照射野が絞れるか コリメータ周辺にガタツキがないか
8 X 線制御パネル (使用前)	ちらつきなど異常な表示はないか
9 車輪 (使用前)	前輪車輪取付部にガタツキがないか 前輪車輪にゆがみや変形はないか 駆動車輪回転時に異常な振動や異音がないか
10 障害物検出部 (使用前)	外観に異常はないか ガタツキがないか スイッチが正常に動作するか
11 アースベルト (使用前)	外観に異常はないか アースベルトが床に接触しているか 異物（ゴミなど）が付着していないか
12 電源プラグ (使用前)	電源プラグのケースに傷みはないか 電源プラグの刃に曲がりや変形はないか 被覆に傷みやほつれがないか 使用しているコンセントも異常がないか ケーブルリールの被覆に傷みやほつれがないか ケーブルリールからケーブルを引き出したり巻き取ったりしたときに、引っ掛かりや異音はないか
13 ケーブル (使用前)	ねじれや被覆に傷みなどがないか
14 ワイヤロープ (使用前)	ワイヤーロープが断線していないか 素線の切断の有無 形くずれおよび腐食の有無
15 収納部 (使用前)	ファン通気穴にほこりがたまっていないか ファン通気穴から装置外部に空気が排出されているか
16 その他 (使用前)	電源投入時や充電時に異臭および異音はないか X 線管装置から異音や振動は出ていないか 警告表示や故障表示が出ていないか

業者による保守点検事項

1.定期点検

本装置は精密機器ですので、当社サービス担当店による、ワイヤロープを含めた定期的な保守点検を実施すること。実施しない場合、装置寿命の短縮や重大な故障に繋がる恐れがあります。

異常な点、不審な点があれば装置を分解せず当社サービス担当店に連絡すること。
保守契約制度を御用意しております。詳しくは、当社サービス担当店にお問い合わせください。
また、装置の廃棄については当社サービス担当店に連絡すること。

項目（頻度）	点検事項
1 支柱 (6 ヶ月ごと)	固定ボルトのゆるみがないか
2 バッテリー (6 ヶ月ごと)	外観に異常はないか 電圧は適正か
3 電源 (6 ヶ月ごと)	出力電圧は適正か
4 X 線出力 (6 ヶ月ごと)	管電圧、管電流、撮影時間の確認
5 ワイヤロープ (6 ヶ月ごと)	素線の切断の有無 固定部の異常の有無 油切れの有無 形くずれおよび腐食の有無
6 X 線管装置回転部 (6 ヶ月ごと)	油切れの有無
7 アームキャッチ (6 ヶ月ごと)	収納時の固定チェックを行う 固定されているか ガタツキが生じていないか 収納信号の確認
8 アーム部 (6 ヶ月ごと)	上下動時に引っ掛かりや異音がないか
9 障害物検出部 (6 ヶ月ごと)	外観に異常はないか 動作の確認
10 アースベルト (6 ヶ月ごと)	外観に異常はないか 異物が付着していないか
11 ケーブル (6 ヶ月ごと)	ひねりや被覆に傷みなどがないか
12 電源プラグ (6 ヶ月ごと)	電源プラグのケースに傷みはないか プラグの刃の曲がりや変形はないか ケーブルリールの被覆に傷みやほつれがないか ケーブルリールの引き出し、巻き取りの際に、引っ掛かりや異音はないか
13 コリメータ (6 ヶ月ごと)	照射野調整ツマミの操作が重くないか
14 ラベル (6 ヶ月ごと)	ラベルが貼られていることを確認 ラベルの損傷や欠落はないか
15 取扱説明書 (6 ヶ月ごと)	取扱説明書に欠落ページはないか

2.定期交換部品

定期交換部品は下記のとおりです。詳細は取扱説明書を参照すること。交換は当社サービス担当店が行います。

部品名	数量	交換頻度
バッテリー	20	2 年毎
ワイヤロープ	2	10 年毎※1
ハロゲンランプ	1	1 年毎
コードリール	1	2 年毎
アースベルト	1	2 年毎
Oーリング	8	5 年毎
CPU バックアップ用バッテリー	1	2 年毎
デンチアルカリ LR61	1	2 年毎
シリコンパッキング	1	1 年毎
シリコングリス	1	1 年毎
モータ	2	7500km
X 線管装置	1	3 万ぱく射
リレー　K3※2	1	5 年毎
リレー　K11	1	2 年毎
キースイッチ	1	5 年毎
緊急停止スイッチ	1	5 年毎
ケーブルカバー	1	5 年毎
ケーブルカバー	1	5 年毎
コンタクトピン	1	1 年毎
ヒューズ　2A　250V	3	1 年毎
ヒューズ　150A　600V※2	1(択ー)	1 年毎
ヒューズ　160A　660V※2	1(択ー)	1 年毎
ヒューズ　100A　600V※3	1	1 年毎
ヒューズ　0.5A　250V	1	1 年毎
ヒューズ　5A　250V	3	1 年毎
ヒューズ　10A　660V	2	1 年毎
ヒューズ　1A　250V	1	1 年毎
ヒューズ　10A　250V	1	1 年毎
ヒューズ　6.25A　250V	2	1 年毎

※1FPD アップグレード時は 6 年毎。

※232kW 用。※312.5kW 用。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者名称：株式会社 島津製作所

同　　電話番号：(075) 823 – 1271

同ホームページ：http://www.med.shimadzu.co.jp/

備考

文書番号　：M503-1035H

P/N　　：562-40106

取扱説明書を必ずご参照ください。